

● 動物実験委員会の開催日及び審議事項

	第1回動物実験委員会	第2回動物実験委員会
開催日	平成25年8月5日	平成26年1月31日
開催場所	事務局第6会議室	※メール会議
審議事項等	1) 平成24年度自己点検・評価について 2) 発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関するガイドライン（案）について 3) 動物実験相互検証結果への対応について	1) 本学ホームページに掲載する動物実験に関する「平成24年度自己点検・評価」への追加事項の掲載について

● 動物実験の新規承認件数及び変更承認件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規承認	6	9	10	8	3	6	6	3	7	6	3	14	81
変更承認	15	30	5	9	13	4	10	15	17	9	7	16	150

● 承認された飼養保管施設の総数並びに主要な飼養保管施設の名称

- 承認された飼養保管施設の総数（平成25年4月1日現在）…………… 16施設
- 主要な飼養保管施設 …………… 動物実験施設、薬学部動物飼育室

● 飼養保管施設及び動物実験室の申請件数及び承認件数

	申請件数	改善なし承認件数	改善意見付与件数	改善後承認件数
飼養保管施設	0件	0件	0件	0件
動物実験室	3件	2件	1件	1件

● 動物種ごとの飼養保管状況

	マウス	ラット	モルモット	ハムスター	スズメ	トリ	ウサギ	ネコ	サル	イヌ	ヒツジ	ブタ	合計
匹数	72,586	8,570	7	122	145	0	248	0	2	0	0	90	81,770

● 動物実験により得られた成果

発表論文件数 ※（ ）は印刷中・[ ]は投稿中で内数	発表学会件数	学会賞等
128編（15編）[6編]	37回	2件

● 教育訓練実施状況

先導生命科学研究支援センター（動物実験施設）

開催日	平成25年4月16日	平成25年4月17日	平成25年4月18日	平成25年6月26日
受講者数	35名	33名	21名	29名
開催日	平成25年7月10日	平成25年8月12日	平成25年9月27日	平成25年10月25日
受講者数	8名	20名	13名	8名
開催日	平成25年11月12日	平成25年11月19日	平成25年12月3日	平成25年12月17日
受講者数	5名	1名	50名	1名
開催日	平成26年2月7日			
受講者数	7名			

【教育訓練の実施内容の概略】

1. 実験動物及び動物実験に関連する法令体系（動物愛護管理法、飼養保管苦痛軽減基準、殺処分指針、動物愛護推進基本指針、文部科学省基本指針、日本学術会議詳細指針）についての解説
2. 長崎大学動物実験規則の解説
3. 3Rの概念と動物実験責任者の責任
4. 失敗事例から学ぶ
5. 動物実験計画書等の全学書類解説
6. 動物実験施設飼養・保管マニュアルの解説

7. 安全管理を要する動物実験（組換え実験、感染実験、発がん物質等使用実験）について
8. 飼育経費の負担について
9. 施設利用の概略説明
10. 動物飼育・実験申込書等の施設内書類解説
11. 利用区域に応じた施設見学環境科学部

開催日	平成25年5月31日	平成25年10月1日	平成25年11月28日
受講者数	3名	4名	77名

【教育訓練の実施内容の概略】

1. 関連法規、基本指針、詳細指針の解説
2. 長崎大学動物実験規則の解説
3. 動物実験施設飼養・保管マニュアルの解説
4. 施設利用概略
5. 施設見学
6. 動物実験の倫理について

※平成25年11月28日は学生実習前の初学生を対象とした教育のため1、2、6のみ実施した。

水産学部

開催日	平成25年6月4日
受講者数	29名

【教育訓練の実施内容の概略】

1. 関連法規、基本指針、詳細指針の解説（特に3Rの原則）
2. 長崎大学動物実験規則の解説
3. 長崎大学水産学部小動物室飼養・保管マニュアルの解説（特に緊急時の対応、ケージ管理、飼育管理記録簿記載について）
4. 施設見学（入室・退室の作法、作業手順、空調管理、清掃、廃棄物処理、実験中の注意点について）

## ● 動物実験に関する自己点検結果

### ○ 安全管理の状況

1. 安全管理の必要な動物実験（感染・組換え・放射線・発癌等化学物質）について、適切に管理されていた。
2. 安全管理に関する事故が生じた場合における体制が適切に整備されていた。
3. 必要な安全設備や衛生設備は整備されていた。

### ○ 実験動物の飼養保管状況

1. 飼養保管施設の管理及び保守点検について、14の飼養保管施設では適切に行われていたが、1の飼養保管施設で保守点検の記録が不十分であった。記録が不十分であった飼養保管施設では、記録方法を策定し、平成26年8月1日以降は策定した記録方法により記録を行うこととした。
2. 飼養保管中の動物の数や状態について、台帳（動物飼育・実験記録簿）や動物管理システム（PCソフト）等により適切に管理されていた。
3. 実験動物管理者等が動物納品書の写し等の入手先等を示す記録を保有している。
4. 動物の逸走等に関する事故が生じた場合における体制が適切に整備されていた。

○ マニュアルの記載内容について

1. 14の飼養保管施設では飼養保管を行うためのマニュアルが適正な作成されていたが、2の飼養保管施設では「動物の搬入、検疫」、「飼育室の環境条件」、「施設・設備の保守点検」に関する必要な事項が未記載又は不十分であったことから、当該事項を追加又は十分な記載内容に改めることとした。

○ 施設等の維持管理の状況

1. いずれの施設も概要を示す平面図を有し、維持管理されていた。

● 長崎大学動物実験委員会

H.26.4.1 現在

区分	役割	所属等	専門分野
委員長 (2号委員)	②実験動物に関して優れた識見を有する者	先導生命科学研究支援センター	実験動物学（実験動物ウイルス学）
副委員長 (1号委員)	①動物実験等に関して優れた識見及び経験を有する者	環境科学部	放射線・化学物質影響科学、神経化学・神経薬理学、生物系薬学、薬理学一般、環境系薬学
委員 (1号委員)	①動物実験等に関して優れた識見及び経験を有する者	大学病院	呼吸器内科学
委員 (2号委員)	②実験動物に関して優れた識見を有する者	医学部	循環器内科学、生理学一般
委員 (2号委員)	②実験動物に関して優れた識見を有する者	熱帯医学研究所	免疫学、寄生虫学（含衛生動物学）
委員 (3号委員)	②実験動物に関して優れた識見を有する者	医学部	実験病理学、医化学一般、病態科学系歯学・歯科放射線学、機能系基礎歯科学
委員 (3号委員)	①動物実験等に関して優れた識見及び経験を有する者	歯学部	動物生理・行動
委員 (3号委員)	①動物実験等に関して優れた識見及び経験を有する者	薬学部	生物系薬学、薬理学一般
委員 (4号委員)	③その他学識経験を有する者	教育学部	プラズマ科学、数理物理・物性基礎、科学教育
委員 (5号委員)	③その他学識経験を有する者	事務局	
委員 (6号委員)	③その他学識経験を有する者	水産学部	植物生理・分子